

心のあたたかさを感じる

校長 活田 宏輔

卒業式の日には花をつけ始めた校庭のソメイヨシノは、春休みの間、静かな校庭で咲き誇りながら、子どもたちの登校をずっと待っているようでした。1年ずつ進級した子どもたちの明るい笑顔がそろい、いよいよ新年度のスタートです。

「地域の人にあいさつをしたら、心が温かくなったよ。」(2年生)

「落とし物を拾った相手からありがとうと言われて、お互いに笑顔になったことがとても温かいなと思った。」(4年生)

「朝早く寒い日におじさんがごみステーションの掃除をしてくれていた。」(5年生)

これは、昨年度に私が出した宿題「冬に見つけたあたたかさ」の答えの一部です。子どもたちはたくさんの温かいものを見つけました。その中に、心の温かさに気づいたものが多くありました。私は感動して、3月の修了式で紹介しました。

これらの経緯から、始業式では、「心の温かさに気づける、みんなの心が温かい学校にしていきましょう。」と呼びかけました。そして恒例の校長先生クイズを出しました。

「やさしいな、をみつけたよ。」これから子どもたちいろいろな「やさしさ」を見つけていきます。体の温かさは、直接的に経験できるので、感じる(見つける)ことができます。しかし、心の温かさは、目に見えないものなので容易に感じることはできません。生活の中で感じる優しさ、喜び、ぬくもり、分かち合いの場面を大人が丁寧に価値づけることがとても大切です。「これが心の温かさなんだね。」と学校でも家庭でも子どもと一緒に見つけていきたいです。

令和5年度 本校の教育目標

《 一人ひとりがかがやき

みとめ合い つたえ合い

たかめ合う 西本郷小の子 》

本年度は84名の元気な新一年生が入学しました。学校全体では1学級増え、一般学級17学級、個別支援学級5学級、全校児童524名となりました。それぞれの児童が新しい環境に慣れ、安心して楽しく生活できるように、全職員で支援していきます。